



「大館市本庁舎建設基本構想・基本計画」の理念と方針を踏まえ、「歴史まちづくりの拠点」となる庁舎をつくります。新庁舎は、行政機能の充実と「市民の安全・安心を確保した庁舎」、「周辺の歴史的建築物、文化施設等をめぐる交流拠点」の整備を図ります。

**「大館を象徴する歴史や風物詩を、  
未来へのまちづくりと共に見守り続ける庁舎」**

□ 4つのコンセプト

1. 歴史まちづくりと市民を結ぶ庁舎
2. 100年間市民の安心安全を見守る庁舎
3. 賑わいと機能が共存する市民が創る庁舎
4. 大館の自然の恵みを活かすエコ庁舎

「大館市本庁舎建設基本構想・基本計画」より

**新庁舎建設の基本理念**

**「市民に親しまれ、安心して暮らせる街の拠点となる庁舎」**

**新庁舎建設の基本方針・具体的目標**

- |   |  |
|---|--|
| <p>① 防災拠点として市民の安全・安心を確保した庁舎</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害対策本部機能の強化</li> <li>・ 市民の安全・安心の確保</li> </ul> <p>② 市民サービスの向上が図られる効率的な庁舎</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 来庁者にとって分かりやすく、職員が対応しやすい庁舎</li> <li>・ 来庁者が安心できる環境の庁舎</li> <li>・ 窓口手続きがスムーズな庁舎</li> </ul> <p>③ 市民に親しまれる開かれた庁舎</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 気軽に利用できる市民交流空間を備えた庁舎</li> <li>・ ユニバーサルデザインに配慮した庁舎</li> </ul> <p>④ 環境に配慮した庁舎</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 再生可能エネルギーの活用と省エネ化</li> <li>・ 緑化の推進、施設の長寿命化</li> </ul> | <p>⑤ まちづくりと連動した庁舎</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コンパクトシティの核となる庁舎</li> <li>・ 桂城公園との一体的な整備</li> </ul> <p>⑥ 市民が誇りを持てる庁舎</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地場産材の使用及び展示スペースの設置</li> <li>・ 市の象徴としての景観形成をする庁舎</li> </ul> <p>⑦ 分庁舎を利活用し、将来の機能集約や機構改革等にも対応できる庁舎</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 将来を見据えた行政サービスに対応できる庁舎</li> <li>・ 市有建物の有効活用</li> </ul> <p>⑧ その他の機能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>I 高度情報化への対応と防犯機能を備えた庁舎</li> <li>II 行政機能</li> <li>III 議会機能</li> </ul> |
|---|--|

**b 設計概要：計画概要**

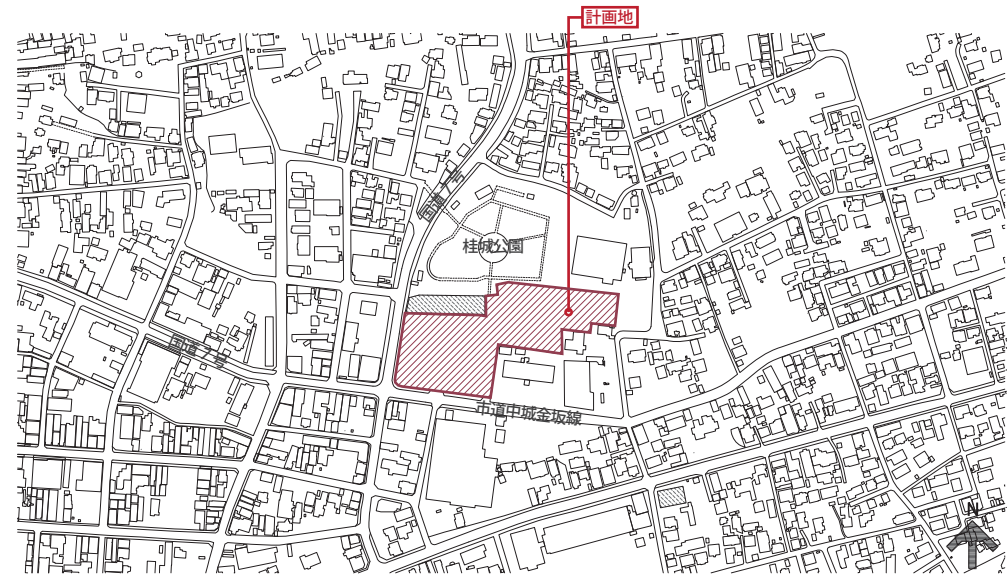
**敷地概要**

地名地番	大館市字中城 4-7、5-29、20、22-3 番地、字片町 9-1
住所表記	大館市字中城 20 番地
敷地面積	約 13,673.32 m <sup>2</sup>
道路	西側：国道 7 号（第 42 条第 1 項第 1 号） 幅員：15.0 m 南側：市道中城金坂線（第 42 条第 1 項第 1 号） 幅員：15.2-15.8 m

**都市計画・地域地区等**

項目	現庁舎敷地	公園側敷地（関係敷地部分）
区域区分	都市計画区域（区分非設定）	都市計画区域（区部非設定）
用途地域	商業地域	第 1 種住居地域
容積率	400%	200%
建蔽率	80%	60%
防火地域	準防火地域	法 22 条地域
日影規制	—	平均地盤面からの高さ：4m 日影規制：5 h -3 h
道路斜線	1.5 × L、20 m	1.25 × L、20 m
隣地斜線	31+ (2.5 × L)	20+ (1.25 × L)
北側斜線	—	—
浸水予測	浸水想定区域外	浸水想定区域外
その他地域地区	—	—

**案内図 S=1:7500**



**建築計画概要**

建物用途	庁舎
工事種別	新築工事
構造	【I期】 庁舎：鉄骨造（基礎免震構造） 休憩所：鉄筋コンクリート造  【II期】 車寄せ庇：鉄骨鉄筋コンクリート造 休憩所：鉄筋コンクリート造 駐輪場：鉄筋コンクリート造
耐火建築物	耐火建築物
建築面積	2,495.25 m <sup>2</sup>
建蔽率	18.24% (2,495.25/13,673.32 × 100=18.24%)
述べ面積	7,636.13 m <sup>2</sup>
容積率	55.84% (7,636.13/13,673.32 × 100=55.84%)
階数	地上 6 階
最高の高さ	25.65 m
予定工期	工事中予定：H 31 年 4 月（※庁舎） 工事完了予定：H 32 年 12 月（※庁舎）

駐車施設	普通車用：124 台（西側：96 台、東側：24 台） 小型車用：10 台 障害者用：7 台（西側：6 台、東側：1 台）
駐輪施設	〈自転車〉 平置き：約 48 台 〈バイク〉 平置き：7 台

I 期	各棟別床面積	【庁舎】
		6 階 … 156.81 m <sup>2</sup> 5 階 … 1,278.66 m <sup>2</sup> 4 階 … 1,301.46 m <sup>2</sup> 3 階 … 1,301.47 m <sup>2</sup> 2 階 … 1,387.84 m <sup>2</sup> 1 階 … 1,886.59 m <sup>2</sup> ピット階 … 17.75 m <sup>2</sup> 〈小計〉 7,330.58 m <sup>2</sup> 【休憩所 A - C】 … 40.89 m <sup>2</sup> （※各棟 13.63 m <sup>2</sup> ） 〈合計〉 7,371.47 m <sup>2</sup>
II 期	各棟別床面積	【車寄せ庇】 …… 287.42 m <sup>2</sup> 【休憩所 D・E】 …… 19.94 m <sup>2</sup> （※各棟 9.97 m <sup>2</sup> ） 【駐輪場 A - C】 …… 79.23 m <sup>2</sup> （※各棟 26.41 m <sup>2</sup> ） 【バス待合】 …… 12.74 m <sup>2</sup> 〈合計〉 399.33 m <sup>2</sup>
		総合計

**電気設備概要**

受変電設備	受電方式：6.6kV1 回線受電 屋外キュービクル 一般電灯：300kVA 一般動力：500kVA 非常保安電灯：100kVA 非常保安動力：300kVA
非常用発電機設備	ディーゼルエンジン発電機：400kVA 燃料：軽油 稼働時間：72 時間（オイルタンクによる備蓄）
太陽光発電設備	太陽光パネル：10kW 蓄電システム：10kW（蓄電池 15kwh）
幹線動力設備	動力：三相 3 線 200V 電灯：単相 3 線 200V/100V
照明設備	LED 照明器具 人感センサー及び集中管理（共用部）
雷保護設備	棟上導体方式（導体は構造体を利用） 新 JIS レベルIII
自動火災報知機設備	R 型受信機
その他設備	情報表示設備、映像音響設備、拡声設備、誘導支援設備 テレビ共同受信設備、入退室管理設備

**空調換気設備概要**

熱源設備	空気熱源ヒートポンプチラー（寒冷地仕様） ビル用マルチエアコン（EHP）
空調設備	床吹出空調機による床輻射冷暖房（1,2F 執務スペース） 全熱交換ユニット + ビル用マルチ室内機 等 （その他の空調対象室）
換気設備	全熱交換機による第一種換気方式（空調対象室） 排気ファンによる第三種換気方式（トイレ・倉庫等）
排煙設備	自然排煙方式 及び 排煙免除
中央監視	中央監視装置 + 空調集中リモコン、自然制御設備

**給排水衛生設備概要**

上水給水設備	FRP 製受水槽 + 加圧給水ポンプユニット
雑用水給水設備	地下躯体利用 + 加圧給水ポンプユニット ※水源は地下水
給湯設備	小型電気温水器
排水設備	屋内分流（汚水 + 雑排水）方式 ※雨水：建築工事
衛生器具設備	節水型衛生器具
消火設備	屋内消火栓設備、消火器、連結送水器